

# U.S. Indicators

米国 総合PMIは小幅低下も高い水準維持(18年6月PMI：速報値)

: 2018年6月25日(月)

～製造業が大幅に低下したもののサービス業が小幅低下にとどまった～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

## 6月の総合PMIは低下も比較的高い水準を維持

18年6月の米国総合購買担当者指数(PMI)の速報値は、56.0と前月比0.6%ポイント低下した。製造業が54.6と前月比1.8%ポイント低下したが、サービス業が56.5と前月比0.3%ポイント低下にとどまる形で、経済活動の若干のスピード調整が示された。ただし、総合PMIは比較的高い水準を維持しており、景気の堅調持続を示唆している。

製造業では、在庫が上昇したものの、生産、新規受注、入荷遅延、雇用が低下した。寄与度をみると、在庫が前月比+0.07%ポイントの押し上げ寄与となった一方、新規受注が前月比▲1.27%ポイント、生産が前月比▲0.44%ポイント、入荷遅延が前月比▲0.10%ポイント、雇用が前月比▲0.07%ポイントの押し下げ寄与となり、全体で1.8%ポイントと大きく低下した。新規受注は、国内が堅調なものの、輸出受注が減少し、全体を押し下げた。中国では、米国製の豚肉や自動車の輸入手続きの厳格化というのの嫌がらせが5月ごろから行われたことで在庫が増え、輸出受注が減少した可能性が高い。7月以降は、世界経済の拡大が輸出受注を支えるものの、中国、EU、カナダ、メキシコ、インドによる米国製輸入品に対する小規模な関税引き上げの影響が若干下押し要因になるとみられる。

一方、サービス業では、新規受注、雇用が小幅低下したものの、活動指数が前月から上昇した。見通しでは、将来の活動指数は小幅低下したが依然高い水準を保っており、楽観的な予想が維持されている。

雇用動向を示す雇用指数は、非製造業、製造業の低下によって、前月から鈍化したが、高い水準を維持しており、6月の民間雇用者数の堅調な増加ペース持続を示唆している。

インフレに関しては、仕入価格が低下した一方、販売価格が上昇し、交易条件の悪化に歯止めがかかった。また、販売価格の小幅上昇は、消費者物価の緩やかな上昇を示唆している。

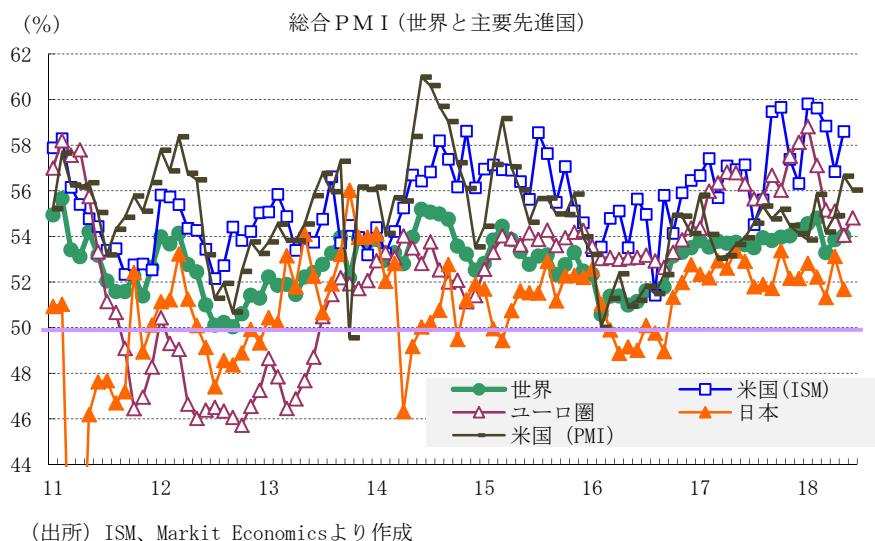
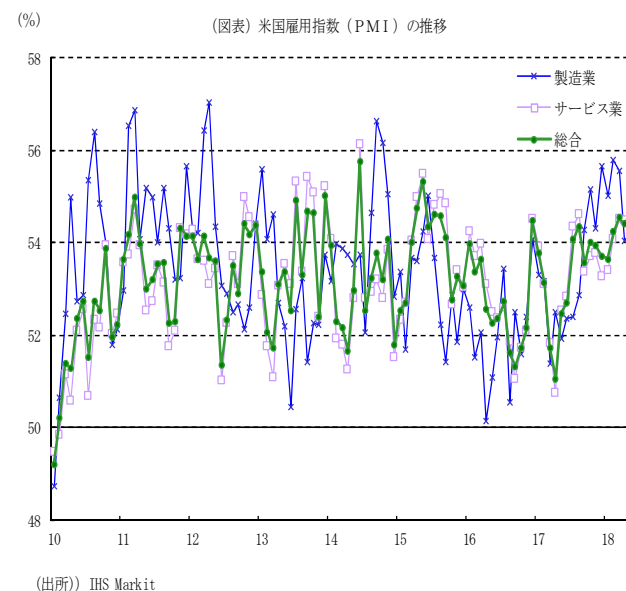
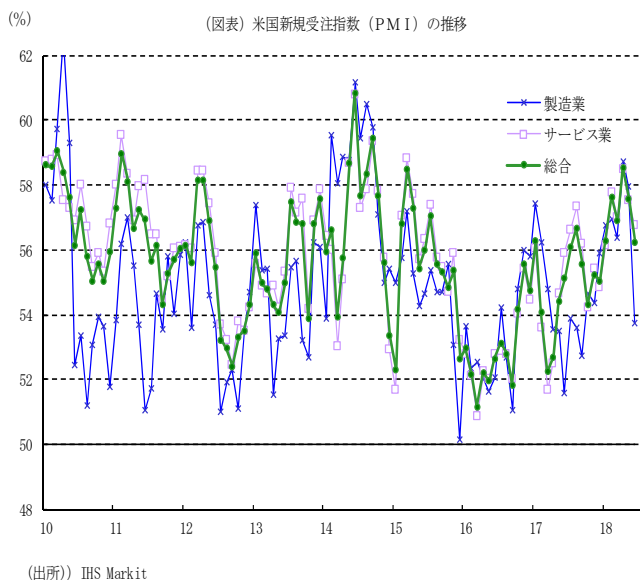
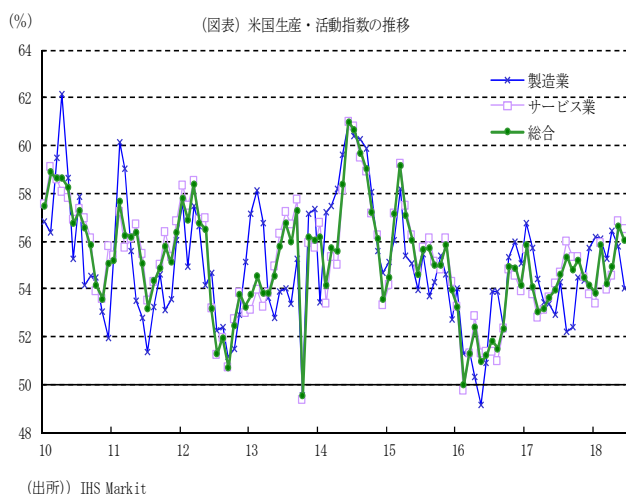
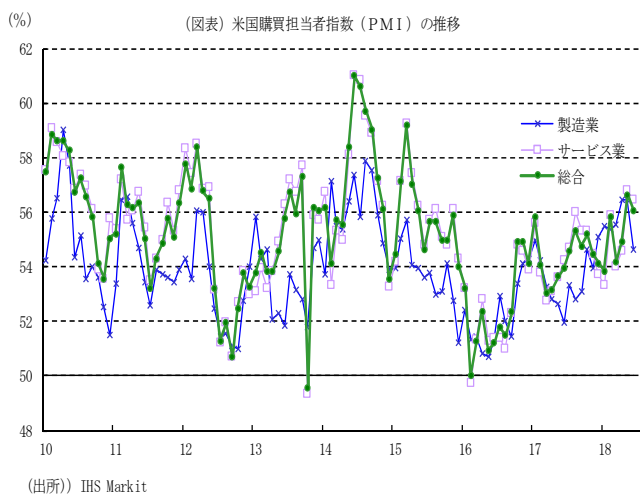
## 総合PMIは4-6月期の堅調な成長を示唆

四半期でみると、4-6月期の総合PMIは55.9と1-3月期の54.6(10-12月期54.6)から上昇し、比較的高い水準を維持した。製造業が55.8(1-3月期55.5)、非製造業が55.9(同54.9)とともに改善した。実質GDP成長率が1-3月期に前期比年率+2.2%、4-6月期に前期比年率+4%(予想)と変動するなかで、景気指数は高い水準で推移し米国景気が堅調さを維持していたことを示している。

今後もドル高(水準)や中国経済の長期的な減速傾向など需要の伸びを抑制する要因が残存するもとで、雇用・所得の増加や資産価格の上昇等による個人消費の拡大、企業業績の改善などに伴う設備投資の増加を背景に、米景気の堅調さが持続するとみられ、

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

PMIは当面現状程度の水準を維持すると予想される。なお、6月のISM製造業景気指数は57.3（5月58.7）に低下するものの、製造業の堅調さを示す水準で推移すると予想される。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。